

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：3年 3月 1日

事業所名：レインボーキッズ・メソッド3(壬生川)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1	57	43		学年などによって分け、スペースを上手に使えるようにしている。	83	13	4		ブログを見る限りは確保できているように思うが、実際の現場を見ていないのでわからない部分もある。	
	2	57	43		利用者に男児が多いので、男性スタッフが必要だと感じている。	59	8		33		人員の確保
	3	86	14		構造化を出来る範囲で行い、スペースを上手に使えるようにしている。	92	8			自分の子にはわかりやすそう。	
	4	57	43		定期的な清掃と整理、消毒や除菌などを行うようにしている。	100				・きれいだと感じている。 ・感染対策をしてくださり、ありがたい。	感染症対策もふくめた環境作りを継続して取り組んでいく。
業務改善	1	57	43			/	/	/	/		
	2		57	43		/	/	/	/		
	3	43	57		現在はコロナ禍の状況なので、各事業所で取り組めれば良いと思う。	/	/	/	/		感染症の影響もあり、法人内の研修が実施できていない状況なので、対策を検討していく。
適切な支援の提供	1	86	14		作業評価を3か月に1度行い、次のステップアップにつなげている。	96	4			学校・他のサービスとの統一ができています。	アセスメントを取り直すなどしながら、現状の課題やニーズを把握できるよう努める。
	2	86	14			92	8			連絡ノートがあるので、内容把握がしやすい。	
	3	100				/	/	/	/		



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		100									
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	86	14								コロナ禍の状況でも、できる範囲で取り組めるように努める。	
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100										
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	71	29								コロナ禍の状況でも、できる範囲で取り組めるように努める。	
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		29	71			21	21	12	46	・文章にある障がいのない子どもというくりが不明である。 ・コロナ禍の状況なので控えてほしい。	利用者様の意見も大切にして、考えていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		14	86		そのような機会があまりない。						利用者様の意見も大切にして、考えていく。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	86	14			その都度、文章などを作成し、利用者様に発信できるように努めている。	100					
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100					96	4			説明の有無に関わらず、目指す所が合えば良いと思っている。	
保護者への説明責任・連携支援	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	43	57			対応の難しさを感じることもある。	42	8	21	29		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100				88	8		4	送迎時は忙しいのでゆっくり話す時間がないが、出来る時にはしている。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	86	14			92	8			・話す相手が毎回同じであれば助かる。 ・日常の様子を話す時間がもう少しほしい。	関係機関と相談しながら、個別に対応を行う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		29	71	要望はあるが、コロナ禍の状況で実施できていない。	4	8	38	50	・そのような会に参加するのなら、子どもと関わってほしい。 ・こんな状況なので無いとは思いますが。	要望はあるが、コロナ禍の状況で実施できていない状況。今後検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100			その都度、保護者と連絡をとって対応させていただいている。	38	8	4	50	そうそう苦情はないのでは？自分の子どもが利用しているのでよっぽどじゃない限り言わないのではないかと思います。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	86	14		手順書やスケジュールファイルなどで確認し合えるようにしている。	75	8		17		できる限り、顔を合わせて意思疎通が図れるようにしている。感染症の事にも配慮しながら取り組む。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	100			毎日の活動をブログで更新させていただいている。また、モニタリング時に活動の様子などの写真を提示してもらったりしている。	71		4	25	見ていると気持ちよい。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100				88			12	気をつけていると感じている。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	71	29		保護者への発信については課題である。	83			17	子どもも納得して訓練を行っており、実際に起こらないことが良いことを一言そえて伝えてくれたので助かった。	
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100			定期的な避難訓練を計画し、実施している。	83	4		13	子どもも納得して訓練を行っており、実際に起こらないことが良いことを一言そえて伝えてくれたので助かった。	避難訓練などについては、継続して、定期的な実施を計画して取り組んでいく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	57	43								
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	14	86		契約時に、重要事項説明書に記載して説明をさせていただいている。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	14	86		過去には対象児童もいたが、現在はいない。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100			事業所内だけではなく、法人内でも共有できることは取り組むように心がけている。						個人情報に配慮して、スタッフ間で共有できるように報告書の作成と、話し合いの場を作る。